

野田市学校施設長寿命化計画

令和3年3月

(令和6年3月一部改訂)

(令和7年3月一部改訂)

野田市教育委員会



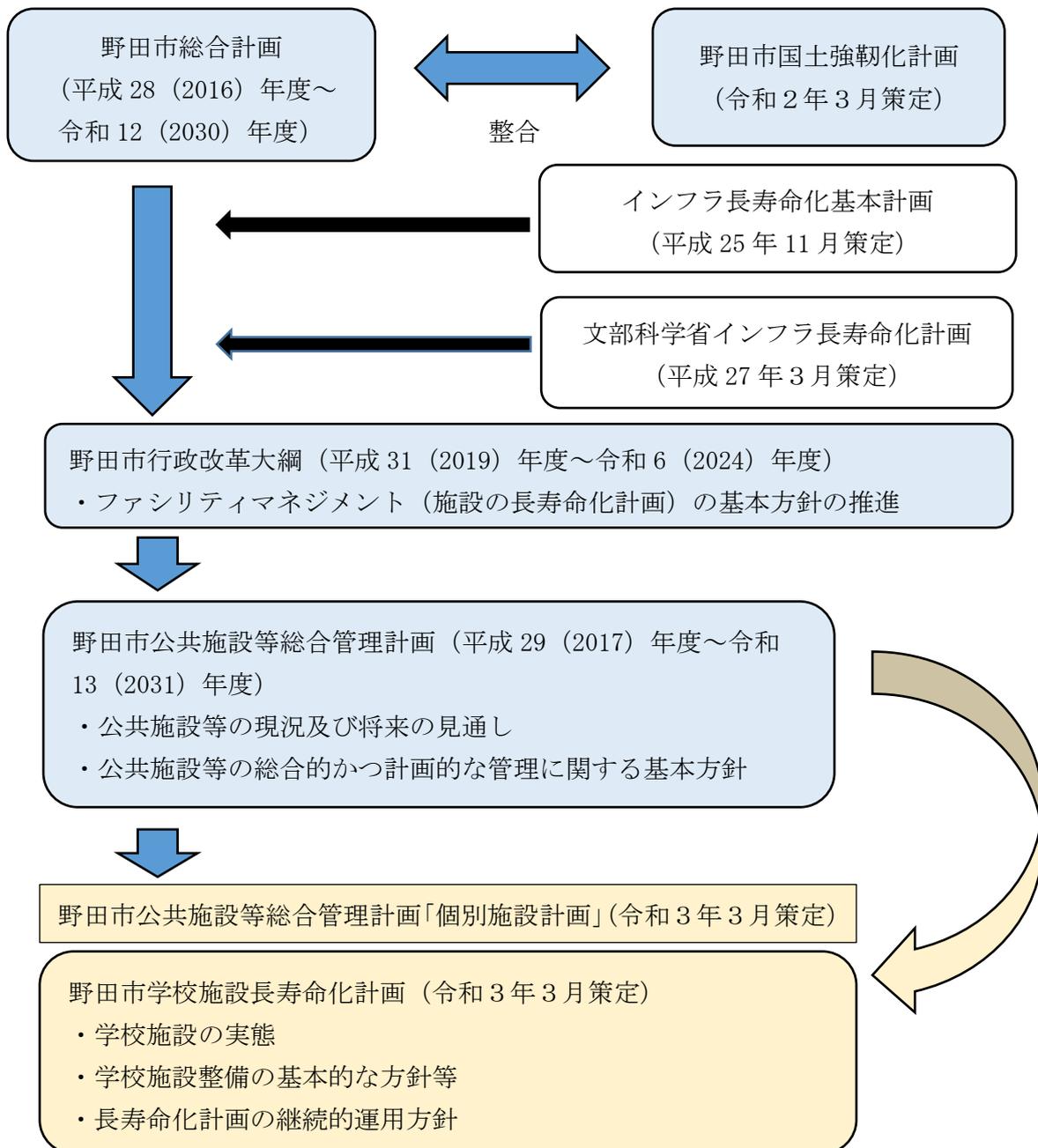
目 次

1	はじめに	
(1)	野田市学校施設長寿命化計画の位置付け	1
2	学校施設の長寿命化計画の背景、目的等	
(1)	背景	2
(2)	目的	2
(3)	計画期間	2
(4)	対象施設	2
3	学校施設の実態	
(1)	学校施設の規模・配置計画等の方針	3
(2)	運営状況、活用状況等の実態	4
ア	学校施設の築年別整備状況	4
イ	学校施設の保有数	5
ウ	児童生徒数の推移	6
エ	学校ごとの学級数・児童生徒数	8
オ	対象施設	9
カ	施設関連経費の推移	11
キ	その他教育施設（給食センター）	14
(3)	学校施設の劣化状況の実態	16
ア	評価基準：屋根・屋上	19
イ	評価基準：外壁	20
ウ	評価基準：内部仕上、電気設備、機械設備	21
エ	劣化度の算定	21
オ	各学校施設の劣化状況	22
カ	今後の計画	29
4	学校施設の目指すべき姿	
(1)	安全・安心な施設環境の確保	30
(2)	教育環境の質的向上	30
(3)	学習活動への適応性	30
(4)	地域とともにある学校施設づくり	30
5	学校施設整備の基本的な方針等	
(1)	学校施設整備の基本的な方針	31
(2)	長寿命化の方針	32
(3)	改修等の優先順位	32
6	長寿命化計画の継続的運用方針	
(1)	推進体制等の整備	33
(2)	フォローアップ	33

1 はじめに

(1) 野田市学校施設長寿命化計画の位置付け

本市では、平成 29 年 3 月に「野田市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設等の更新と長寿命化の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針を定めています。この中で、個別施設ごとの具体的な取組方針を定める計画（個別施設計画）を策定することを求めていることから、学校施設の具体的な対応方針として、「野田市学校施設長寿命化計画」を策定するものです。



2 学校施設の長寿命化計画の背景、目的等

(1) 背景

本市の学校施設は、高度経済成長期の急激な人口の増加に伴う児童生徒数の増加に合わせ、昭和40年代から50年代に集中的に整備し、小学校20校、中学校11校の計31校、幼稚園3園の合計34施設で、学校施設の面積は全公共施設面積の約52%となっています。

昭和56年以前に建設した学校は、耐震補強工事は完了しているものの、施設の老朽化は進行しており、ほとんどの施設は、大規模改修が必要となっている状況にあります。

改修工事及び改築（建替え）につきましては、多額の経費が必要となるため、コストの縮減及び予算の平準化を図りながら、必要となる改修を行い、学校施設の機能を維持する必要があります。あわせて、人口減少、少子高齢化などの社会情勢の変化に対応するため、学校施設の適正配置を検討する必要があります。

また、学校施設の整備については、その用途が教育の場としてだけでなく、避難所としての機能、地域のコミュニティ施設としての機能があることから、地域の拠点として整備することも重要であると考えます。

(2) 目的

本市では、平成29年3月に野田市公共施設等総合管理計画を策定しており、これに基づき学校施設に係る長寿命化を図るため、本計画を策定します。

さらに、上記の背景を踏まえ、学校施設を総合的に捉え、コストの把握、施設の適正規模、適正配置、施設の再編など検討する材料としても活用することとします。

(3) 計画期間

本計画は、野田市公共施設等総合管理計画の計画期間が令和14年3月までとなっていることから、終期を合わせることにし、計画期間を11年間としています。

また、社会経済情勢の変化があった場合などは、必要に応じて柔軟に本計画の見直しを行うものとします。

(4) 対象施設

区分	学校（園、センター）数	延床面積
小学校	20校	110,395 m ²
中学校	11校	70,425 m ²
幼稚園	3園	2,758 m ²
給食センター	2センター	2,190.20 m ²
計	36校（園、センター）	185,768.20 m ²

3 学校施設の実態

(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針

小中学校の規模（学級数）は、学校教育基本法施行規則、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法施行令により、小学校では1から5学級を「過小規模校」、6から11学級を「小規模校」、12から18学級を「適正規模校」、19から30学級を「大規模校」、31学級以上を「過大規模校」と規定されています。

また、中学校では1から2学級を「過小規模校」、3から11学級を「小規模校」、12から18学級を「適正規模校」、19から30学級を「大規模校」、31学級以上を「過大規模校」と規定されています。

平成31年度（令和元年度）における本市の状況は、「過小規模校」は小学校で1校、中学校で1校、「小規模校」は小学校で6校、中学校で6校、「適正規模校」は、小学校で9校、中学校で2校、「大規模校」は、小学校で4校、中学校2校となっています。

配置計画においては、学校の規模を原因とした課題が顕著になった場合、通学区分の見直し及び学校統合などを含め、総合的に検討することとします。

※学校規模の定義

学校規模の分類		過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
学級数	小学校	1から5	6から11	12から18	19から30	31以上
	中学校	1から2	3から11	12から18	19から30	31以上

(公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引から引用)

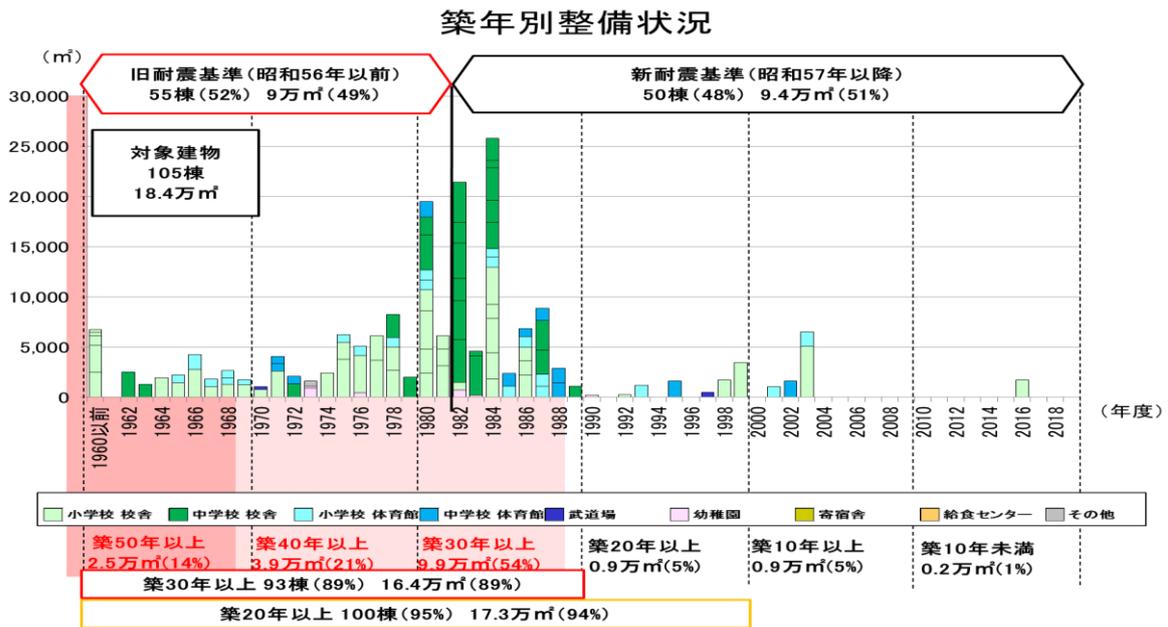
野田市の状況		過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
学校数	小学校	1	6	9	4	-
	中学校	1	6	2	2	-

(2) 運営状況、活用状況等の実態

ア 学校施設の築年別整備状況

本市の学校施設は、高度経済成長期の急激な人口の増加に伴う児童生徒数の増加に合わせ、昭和40年代から50年代に集中的に整備し、小学校20校、中学校11校の計31校、幼稚園3園の合計34施設となっています。

昭和56年以前に建設した学校は、耐震補強工事は完了しているものの、施設の老朽化は進行しており、ほとんどの施設は、大規模改修が必要となっている状況にあります。



イ 学校施設の保有数

【小学校】

区分	校舎			体育館			延床面積単位(m ²) プール	
	建築年	経過年数	延床面積	建築年	経過年数	延床面積	建築年	経過年数
中央小	1928	96	9,017	1966	58	1,516	1953	71
宮崎小	1956	68	4,015	1965	59	796	1959	65
東部小	1969	55	4,392	1968	56	608	1966	58
南部小	1971	53	5,301	1967	57	765	1966	58
北部小	1974	50	2,407	1975	49	751	1975	49
川間小	1966	58	3,797	1966	58	750	1961	63
福田第一小	1976	48	3,692	1987	37	1,111	1976	48
福田第二小	1970	54	2,506	1969	55	493	1973	51
清水台小	1975	49	5,476	1976	48	946	1975	49
柳沢小	1977	47	3,673	1978	46	948	1977	47
山崎小	1980	44	4,778	1980	44	1,006	1980	44
岩木小	1980	44	6,648	1980	44	1,006	1980	44
尾崎小	1984	40	4,443	1984	40	1,065	1984	40
七光台小	1984	40	4,800	1985	39	1,101	1985	39
二ツ塚小	1986	38	4,967	1986	38	1,097	1986	38
みずき小	2003	21	5,047	2003	21	1,458	2003	21
木間ヶ瀬小	1978	46	4,007	1993	31	1,198	1962	62
二川小	1955	69	4,362	1987	37	1,184	1962	62
関宿小	1999	25	3,462	2001	23	1,060	2001	23
関宿中央小	1984	40	3,951	1984	40	795	1984	40
合計			90,741			19,654		

【中学校】

区分	校舎			体育館			延床面積単位(m ²) プール	
	建築年	経過年数	延床面積	建築年	経過年数	延床面積	建築年	経過年数
第一中	1962	62	5,160	1980	44	2,065	1972	52
第二中	1980	44	5,255	1988	36	1,426	1988	36
東部中	1982	42	4,279	1971	53	751	1968	56
南部中	1978	46	7,060	1995	29	1,599	1970	54
北部中	1982	42	6,065	2002	22	1,604	1964	60
川間中	1982	42	5,611	1985	39	1,282	1972	52
福田中	1979	45	5,992	1988	36	1,447	1967	57
岩名中	1987	37	5,326	1987	37	1,232	1987	37
木間ヶ瀬中	1983	41	5,479	1972	52	748	1983	41
二川中	1982	42	4,001	1971	53	750	1982	42
関宿中	1984	40	2,204	1986	38	1,089		
合計			56,432			13,993		

【幼稚園】

区分	延床面積単位(m ²) 園舎		
	建築年	経過年数	延床面積
野田幼稚園	1973	51	1,359
関宿南部幼稚園	1976	48	671
関宿中部幼稚園	1982	42	728
合計			2,758

ウ 児童生徒数の推移 (令和6年5月1日現在)

【小学校】

単位(人)

	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11
中央小	618	603	575	562	566	556	563	557	518
宮崎小	466	444	436	408	396	384	371	374	353
東部小	182	165	149	128	120	117	109	104	100
南部小	699	707	709	688	691	686	729	725	722
北部小	412	375	297	272	232	194	172	156	145
福田第一小	58	49	38	20	18	21	22	—	—
福田第二小	55	55	53	56	64	54	46	—	—
川間小	137	130	115	113	114	111	109	109	110
清水台小	712	710	714	738	760	759	777	788	780
柳沢小	299	315	340	376	406	425	437	436	443
山崎小	390	370	358	358	371	346	326	316	315
岩木小	703	676	645	605	572	581	571	570	551
尾崎小	294	266	255	260	244	214	223	217	220
七光台小	316	272	246	224	208	198	193	194	194
三ツ塚小	195	165	167	167	149	138	131	—	—
みずき小	618	621	642	653	670	667	628	603	577
木間ヶ瀬小	146	148	143	127	123	112	112	108	94
二川小	333	331	342	327	315	312	294	281	252
関宿小	108	103	85	85	88	90	83	82	87
関宿中央小	292	282	272	258	251	231	218	206	190
合計	7,033	6,787	6,581	6,425	6,358	6,196	6,114	5,826	5,651

※特別支援学級を除く。推計値は11月末時点住基データから。学区外就学は過年度実績から見込み推計。

【義務教育学校】

	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11
福田地区	—	—	—	—	—	—	—	268	250

※福田第二小学校の小規模特認校の在り方について、令和7年度末までに決定するため、数値が変更となる場合があります。

【中学校】

	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11
第一中	757	722	734	692	642	586	564	592	604
第二中	282	301	296	287	269	283	287	278	280
東部中	148	127	114	124	115	108	83	84	80
南部中	832	809	803	770	748	791	808	838	800
北部中	481	458	467	408	365	316	286	250	214
福田中	170	161	157	158	124	107	86	—	—
川間中	276	272	256	232	209	204	166	156	151
岩名中	478	491	468	469	456	426	375	346	352
木間ヶ瀬中	251	232	211	217	214	219	191	178	172
二川中	234	204	176	171	162	162	165	167	167
関宿中	67	63	62	52	52	47	48	45	37
合計	3,976	3,840	3,744	3,580	3,356	3,249	3,059	2,934	2,857

※特別支援学級を除く。推計値は11月末時点住基データから。学区外就学は過年度実績から見込み推計。

<幼稚園>

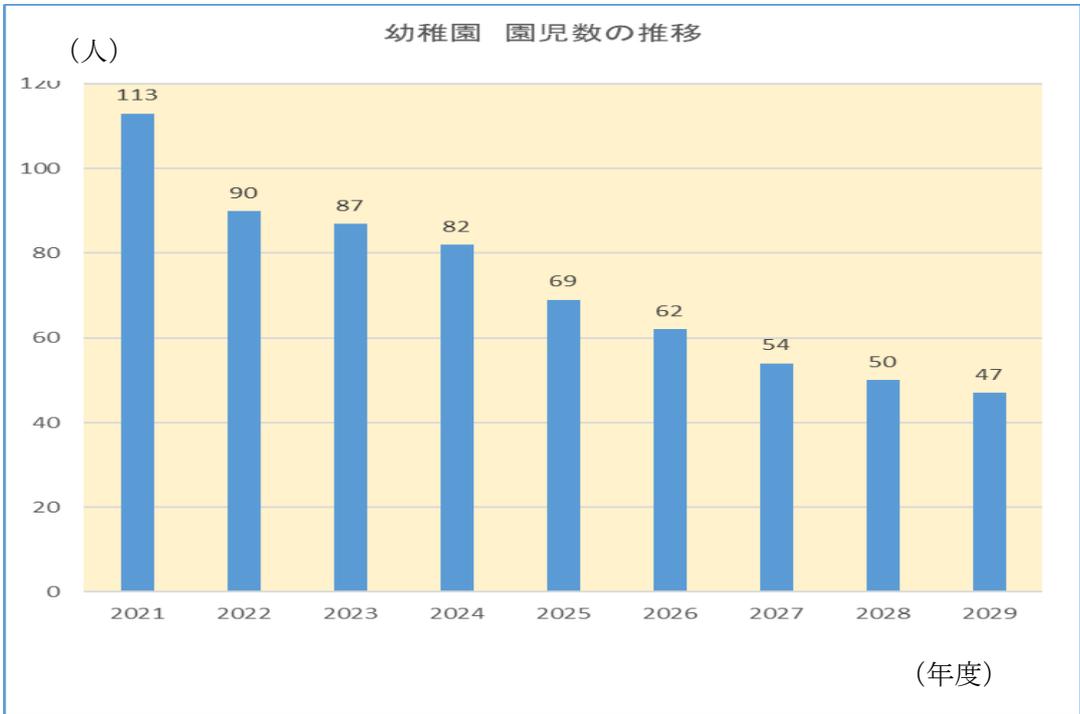
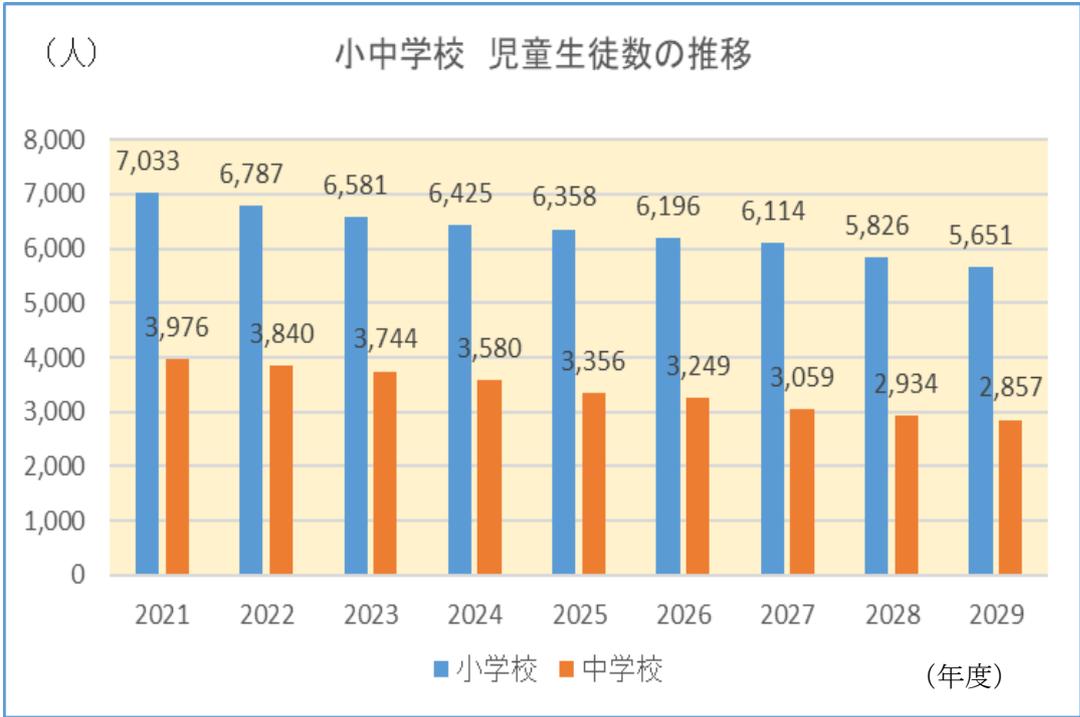
	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11
野田幼稚園	70	55	69	67	61	58	54	50	47
関宿南部幼稚園	24	17	—	—	—	—	—	—	—
関宿中部幼稚園	19	18	18	15	8	4	—	—	—
合計	113	90	87	82	69	62	54	50	47

※園児数の推計値は「前年人口」×「前年度人口増減率」で算出。

※関宿南部幼稚園は令和5年度から休園中、関宿中部幼稚園は令和9年度から休園予定

小中学校・幼稚園合計	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4
	11,122	10,717	10,412	10,087	9,783	9,507	9,227	9,078	8,805

令和6年5月1日現在の児童生徒総数(特別支援学級を含む)は、10,477人で、昭和60年(22,235人)ピーク時の約47.1%となっています。小学校児童数は6,766人で、昭和59年(14,856人)ピーク時の約45.5%、中学校生徒数では、3,711人で、昭和62年(8,294人)ピーク時の約44.7%となっています。



エ 学校ごとの学級数・児童生徒数 (令和6年5月1日現在)

【小学校】

単位(学級、人)

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	総計
中央小	学級数	3	4	3	3	3	3	5	24
	児童数	85	108	92	94	93	90	30	592
宮崎小	学級数	2	2	2	3	3	3	4	19
	児童数	54	63	66	71	72	82	19	427
東部小	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
	児童数	23	15	20	23	22	25	9	137
南部小	学級数	3	4	4	3	4	4	3	25
	児童数	98	117	130	88	137	118	18	706
北部小	学級数	2	1	2	2	2	2	2	13
	児童数	40	31	38	42	65	56	10	282
福田第一小	学級数	1	0.5	0.5	0.5	0.5	1	1	5
	児童数	4	2	4	4	2	4	3	23
福田第二小	学級数	1	1	1	1	0.5	0.5	1	6
	児童数	10	6	16	11	11	2	7	63
川間小	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
	児童数	22	17	16	17	26	15	7	120
清水台小	学級数	5	4	4	4	4	3	5	29
	児童数	160	121	128	110	116	103	35	773
柳沢小	学級数	3	2	2	2	2	2	3	16
	児童数	77	68	67	58	62	44	16	392
山崎小	学級数	2	2	2	2	3	2	3	16
	児童数	52	49	65	66	71	55	20	378
岩木小	学級数	3	3	3	4	3	4	6	26
	児童数	89	96	94	106	91	129	41	646
尾崎小	学級数	2	1	2	1	2	2	4	14
	児童数	48	36	40	33	55	48	20	280
七光台小	学級数	1	2	1	2	2	2	3	13
	児童数	34	37	26	43	40	44	12	236
二ツ塚小	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
	児童数	23	35	19	27	31	32	11	178
みずき小	学級数	4	4	4	4	3	3	4	26
	児童数	118	112	108	119	104	92	25	678
木間ヶ瀬小	学級数	1	1	1	1	1	1	3	9
	児童数	12	27	17	18	29	24	16	143
二川小	学級数	2	2	2	2	2	2	2	14
	児童数	43	56	58	57	59	54	16	343
関宿小	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
	児童数	17	7	12	17	16	16	10	95
関宿中央小	学級数	2	2	2	2	2	2	2	14
	児童数	38	43	36	43	48	50	16	274
合計	学級数	41	39.5	39.5	40.5	41	40.5	59	301
	児童数	1,047	1,046	1,052	1,047	1,150	1,083	341	6,766

【中学校】

単位(学級、人)

		1年	2年	3年	特別支援	総計
第一中	学級数	6	7	6	4	23
	生徒数	213	251	228	21	713
第二中	学級数	3	3	4	4	14
	生徒数	91	80	116	22	309
東部中	学級数	2	1	1	1	5
	生徒数	53	35	36	4	128
南部中	学級数	7	7	8	3	25
	生徒数	238	252	280	22	792
北部中	学級数	4	4	4	1	13
	生徒数	112	153	143	8	416
福田中	学級数	2	2	2	1	7
	生徒数	47	50	61	3	161
川間中	学級数	2	3	3	2	10
	生徒数	62	82	88	12	244
岩名中	学級数	5	4	4	3	16
	生徒数	170	140	159	21	490
木間ヶ瀬中	学級数	3	2	2	1	8
	生徒数	84	65	68	8	225
二川中	学級数	2	2	2	2	8
	生徒数	51	57	63	7	178
関宿中	学級数	1	1	1	1	4
	生徒数	16	20	16	3	55
合計	学級数	37	36	37	23	133
	生徒数	1,137	1,185	1,258	131	3,711

【幼稚園】

単位(学級、人)

		年少	年中	年長	総計
野田幼稚園	学級数	2	1	1	4
	児童数	21	23	23	67
関宿南部幼稚園	学級数	休園中			
	児童数				
関宿中部幼稚園	学級数		1	1	2
	児童数		6	9	15
合計	学級数	2	2	2	6
	児童数	21	29	32	82

単位(学級、人)

小中学校・幼稚園合計	学級数	437
	児童・生徒数	10,559

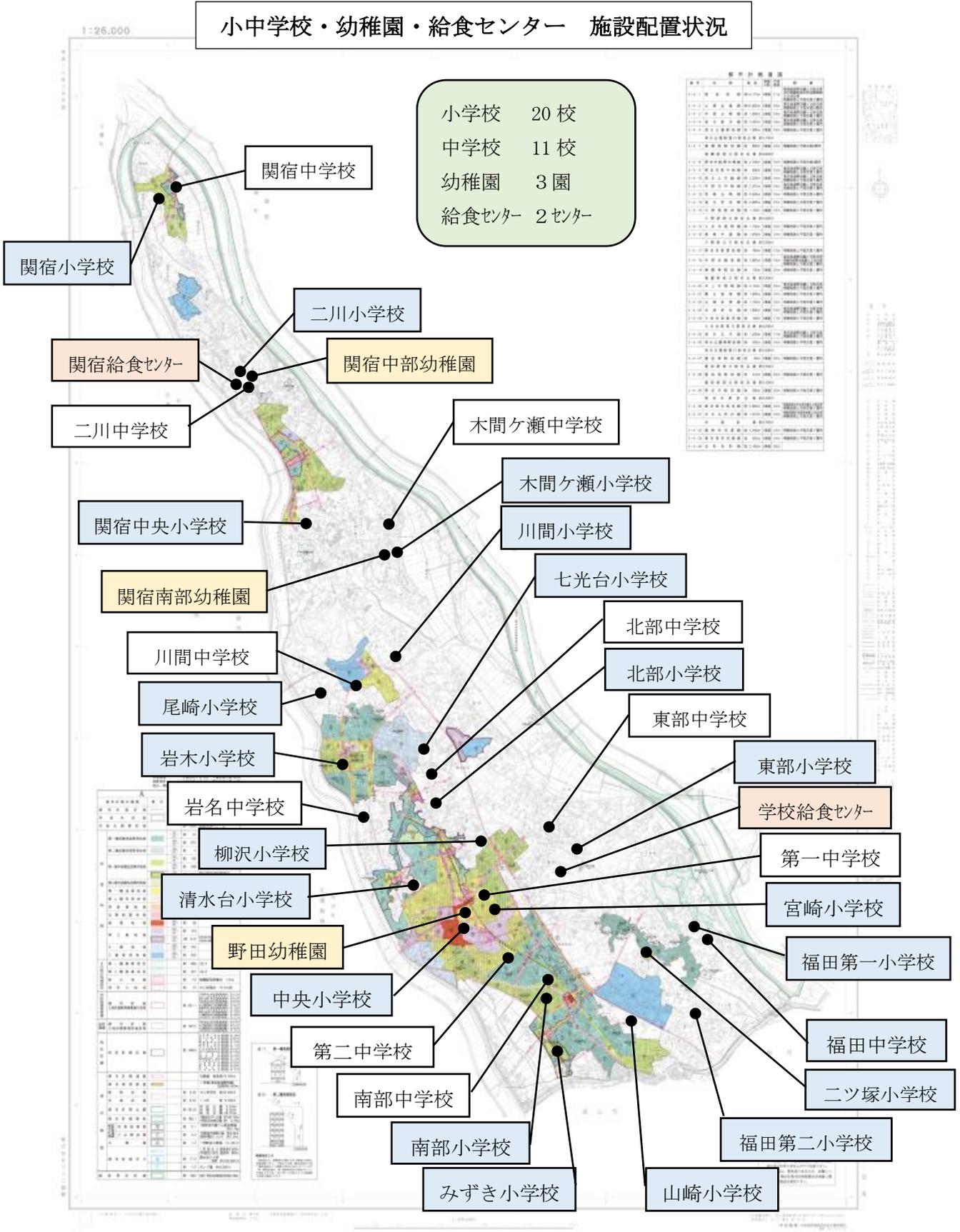
オ 対象施設

対象施設は、小学校 20 校、中学校 11 校の全 31 校で、その内訳は、小学校 63 棟、中学校 36 棟の全 99 棟（校舎、体育館等）及び、幼稚園 3 園で全 6 棟（園舎、遊戯室）です。延べ床面積の合計は、183,578 m²となります。

(単位m²)

小中学校・幼稚園 合計	校舎延床面積	体育館延床面積	園舎延床面積
183,578	147,173	33,647	2,758

小中学校・幼稚園・給食センター 施設配置状況



カ 施設関連経費の推移

施設関連経費を「修繕費」（需用費の施設修繕料）、「光熱水費」、「委託費」（設計委託、施工監理委託を含む。）、「維持補修費」（工事請負費に計上された改修工事）、「整備費」（工事請負費に計上された新築、建替え工事）に区分し、推移を見ました。

【小学校】

単位(円)

区分	2019	2020	2021	2022	2023	5年平均
	R01	R02	R03	R04	R05	
修繕費	18,734,340	20,627,510	21,603,884	36,386,673	29,513,269	25,373,135
光熱水費	125,085,619	117,116,706	138,350,496	204,663,017	135,659,531	144,175,074
委託費	132,367,075	196,905,589	126,008,170	120,533,905	114,602,040	138,083,356
維持補修費	246,934,870	231,082,456	324,157,900	691,168,935	687,602,140	436,189,260
整備費	32,054,919	31,974,035	199,846,263	0	0	52,775,043
合計	555,176,823	597,706,296	809,966,713	1,052,752,530	967,376,980	796,595,868

【中学校】

単位(円)

区分	2019	2020	2021	2022	2023	5年平均
	R01	R02	R03	R04	R05	
修繕費	7,896,705	11,246,887	13,286,639	23,284,928	13,844,083	13,911,848
光熱水費	71,416,054	67,026,229	81,562,912	121,215,754	78,105,558	83,865,301
委託費	69,519,164	53,577,330	63,113,191	45,485,136	52,607,567	56,860,478
維持補修費	75,928,031	102,272,446	54,268,239	55,996,400	17,022,510	61,097,525
整備費	0	0	0	0	0	0
合計	224,759,954	234,122,892	212,230,981	245,982,218	161,579,718	215,735,153

【幼稚園】

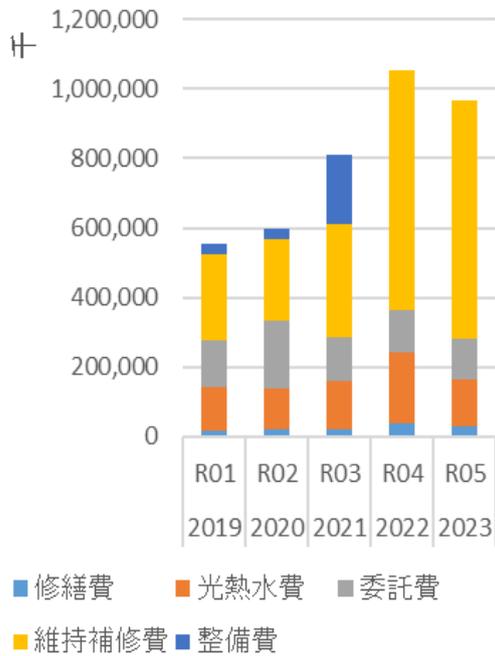
単位(円)

区分	2019	2020	2021	2022	2023	5年平均
	R01	R02	R03	R04	R05	
修繕費	308,000	298,210	531,470	3,008,885	2,833,820	1,396,077
光熱水費	3,618,162	3,654,374	3,740,656	4,153,958	3,411,499	3,715,730
委託費	5,454,843	5,670,175	5,368,073	5,570,064	4,248,811	5,262,393
維持補修費	6,590,160	14,346,200	4,775,540	2,832,500	9,770,200	7,662,920
整備費	0	0	0	0	0	0
合計	15,971,165	23,968,959	14,415,739	15,565,407	20,264,330	18,037,120

学校施設は竣工から平均すると48年ほど経過し、各施設の老朽化が進行しています。

施設の修繕箇所が多い状況であり、今後も増加する見込みとなっています。安定した施設の運営を行うために維持管理及び修繕を計画的かつ効率よく進めていく必要があります。

小学校施設関連経費



中学校施設関連経費



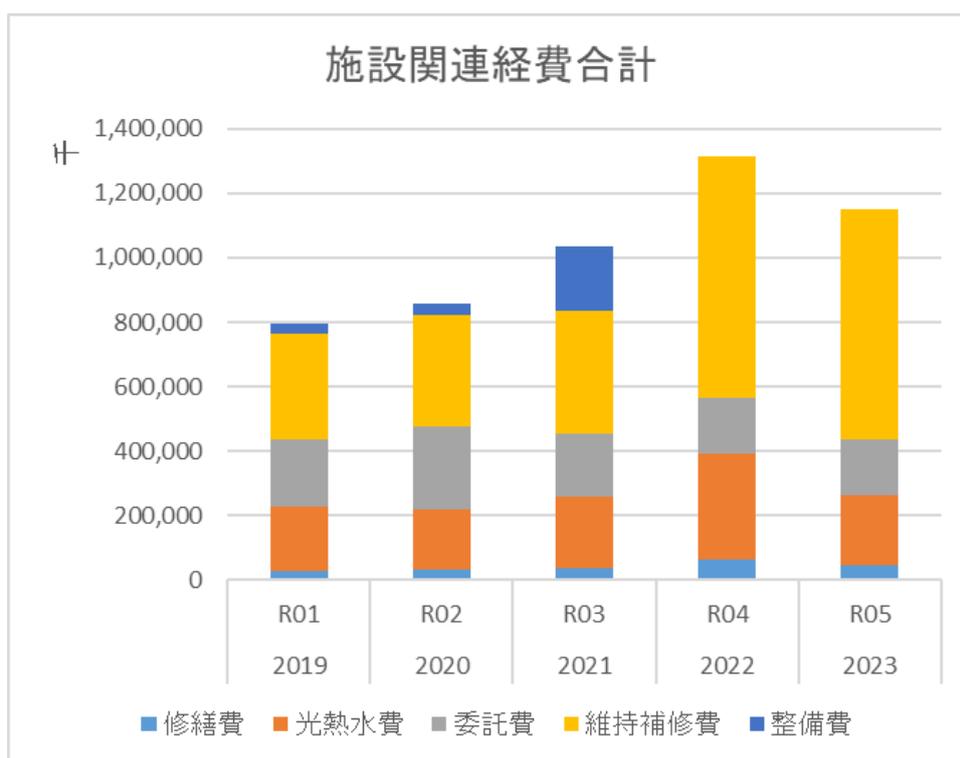
幼稚園施設関連経費



【小中学校・幼稚園の合計】

単位(円)

区分	2019	2020	2021	2022	2023	5年平均
	R01	R02	R03	R04	R05	
修繕費	26,939,045	32,172,607	35,421,993	62,680,486	46,191,172	40,681,061
光熱水費	200,119,835	187,797,309	223,654,064	330,032,729	217,176,588	231,756,105
委託費	207,341,082	256,153,094	194,489,434	171,589,105	171,458,418	200,206,227
維持補修費	329,453,061	347,701,102	383,201,679	749,997,835	714,394,850	504,949,705
整備費	32,054,919	31,974,035	199,846,263	0	0	52,775,043
合計	795,907,942	855,798,147	1,036,613,433	1,314,300,155	1,149,221,028	1,030,368,141



キ その他教育施設（給食センター）

○学校給食センター 【所在地：野田市宮崎 210 番地の 5】

給食調理設備がない幼稚園 1 園、小学校 4 校、中学校 2 校に給食を提供しています。安全安心で栄養バランスのとれた給食を提供するため、施設設備の適切な維持管理を行うとともに、地産地消の推進等、学校給食を通じた食育を推進しています。

建物の状況は、調理棟（共同調理場）と管理棟のうち、昭和 47 年に建設された共同調理場は老朽化が進んでおり、これまでに衛生管理強化を含めた修繕及び改修を実施してきました。

設備の状況は、ボイラー室（ボイラー 2 基、ストレージタンク）、合併浄化槽、単独浄化槽、受水槽、変電設備、重油タンク等の主要な施設のうち、特に合併浄化槽とボイラー室のストレージタンクや配管において老朽化が進んでいます。

施設全体の老朽化が著しいことから、新しい学校給食センターを市内鶴奉地先に建設することといたしました。

施設の概要は、既存の学校給食センターで提供している 3,500 食に加えて、市内の単独調理校の給食施設更新時等の代替食提供機能を持たせるため 5,000 食規模の施設とし、新たに市内全校への米飯炊飯設備を整備するとともに、アレルギー対応食提供設備や空調設備等を整備します。

整備期間は令和 6 年度から 8 年度とし、令和 8 年 9 月から運用開始予定です。敷地面積は約 9,700 m²、延床面積は約 4,100 m²、構造階数は鉄骨造 2 階建て、食数は 5,000 食規模とし、ドライシステム、米飯炊飯設備、アレルギー食提供設備、空調設備等の設備を整備します。

<活動指標・成果指標>

指標名		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
給食を提供した園児児童生徒数（5 月 1 日現在）		3,266 人	3,233 人	3,297 人
年間延べ食数	幼稚園	12,173 食	12,230 食	14,529 食
	小学校	383,650 食	415,392 食	419,131 食
	中学校	186,431 食	201,553 食	205,011 食
残食率		14.3%	13.3%	16.4%
給食費収納率	現年度	99.86%	97.11%	99.83%
	過年度	15.59%	28.03%	16.25%

※給食を提供した児童生徒数の内訳（令和 5 年 5 月 1 日現在）

施設名	園児児童生徒数
野田幼稚園	69 人
中央小学校	602 人

宮崎小学校	451 人
清水台小学校	748 人
柳沢小学校	357 人
小学校計	2,158 人
第一中学校	753 人
第二中学校	317 人
中学校計	1,070 人
合計	3,297 人

○関宿学校給食センター 【所在地：野田市柏寺 480 番地 1】

給食施設設備がない幼稚園 1 園、小学校 4 校、中学校 3 校に給食を提供しています。安全安心で栄養バランスのとれた給食を提供するため、施設設備の適切な維持管理を行うとともに、地産地消の推進等、学校給食を通じた食育を推進しています。

建物の状況は、昭和 62 年に建設された調理管理棟は老朽化が進んでおり、これまでに修繕及び改修を実施してきました。

設備の状況は、ボイラー室（ボイラー 2 基、ストレージタンク）、受水槽、変電設備、重油タンク等の主要な設備全体において老朽化が進んでおります。

<活動指標・成果指標>

指標名		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
給食を提供した園児児童生徒数（5 月 1 日現在）		1,490 人	1,424 人	1,379 人
年間延べ食数	幼稚園	8,343 食	7,241 食	3,795 食
	小学校	171,798 食	175,934 食	172,850 食
	中学校	106,164 食	97,588 食	88,085 食
残食率		10.3%	10.7%	11.4%
給食費収納率	現年度	99.51%	96.10%	99.25%
	過年度	20.47%	28.45%	18.65%

※給食を提供した児童生徒数の内訳（令和 5 年 5 月 1 日現在）

施設名	園児児童生徒数
関宿中部幼稚園	18 人
木間ヶ瀬小学校	159 人
二川小学校	358 人
関宿小学校	92 人
関宿中央小学校	290 人

小学校計	899 人
木間ヶ瀬中学校	215 人
二川中学校	183 人
関宿中学校	64 人
中学校計	462 人
合計	1,379 人

(3) 学校施設の劣化状況の実態

本計画の対象施設は、小中学校の校舎、体育館、武道場、幼稚園、給食センター等、計 36 校（園、センター）109 棟の延べ面積は 185,768.20 m²となります。施設の実態を把握するため、屋根・屋上及び外壁は目視により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修を実施した年からの経過年数により、A～Dの4段階で評価を行い、劣化状況を把握します。なお、構造躯体の健全性が長寿命化の前提となるため、旧耐震基準の建物は耐震診断報告書を参考に、また、新耐震基準の建物は長寿命化工事実施前に躯体の詳細調査を実施し、長寿命化の可否を判断します。

なお、学校給食センターは経年による劣化が進んでおり、引続き日常点検等による保全に努め、学校給食の提供方式を見直す中で施設のあり方を検討していきます。

関宿学校給食センターは、経年による劣化は進んでいるので、引続き日常点検等による保全に努め、劣化が激しく給食調理に欠かせないボイラーについては、更新までの間は特に注視し、故障に対し早急に修繕により対応していきます。

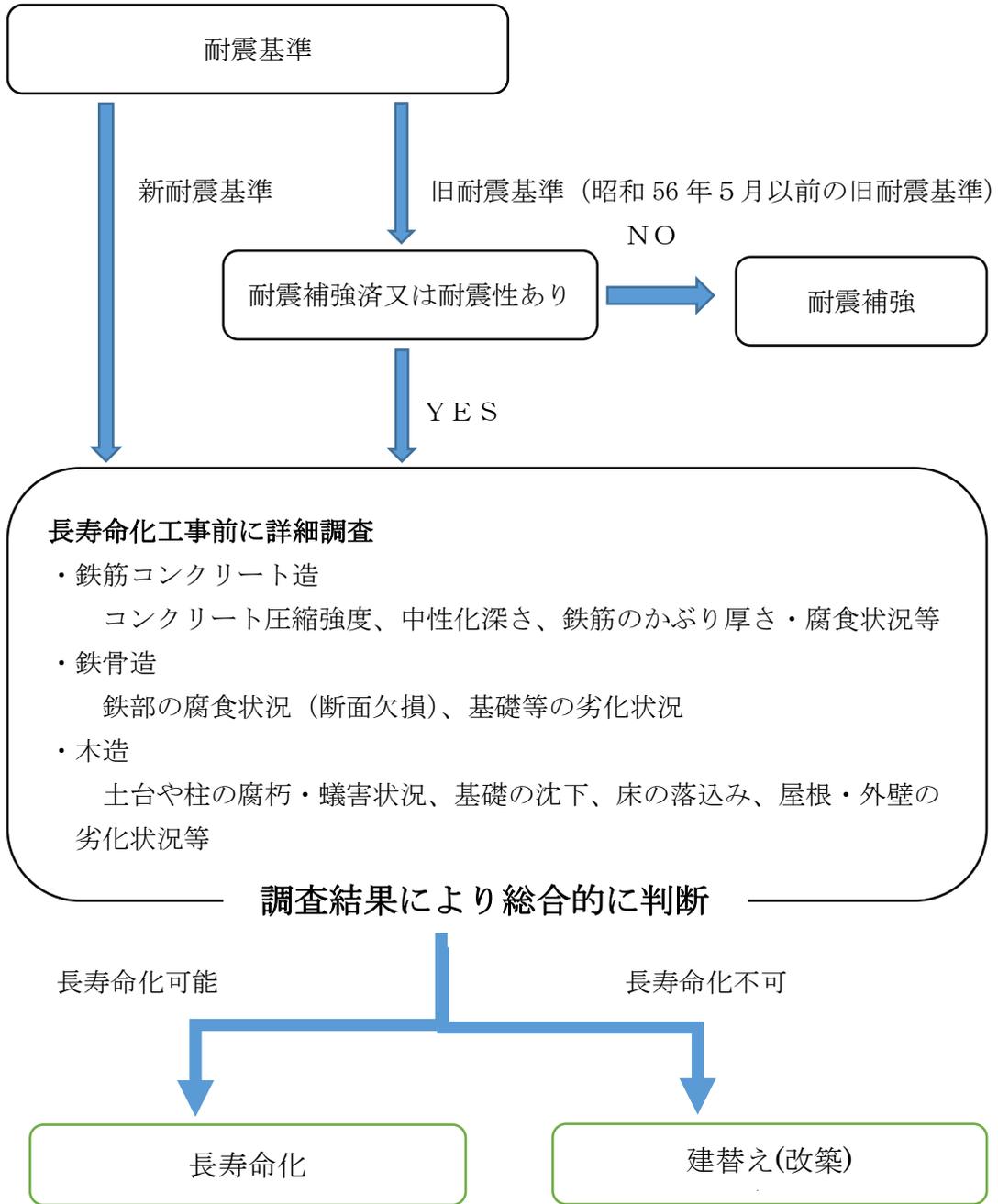
また、自校式給食室についても、経年による劣化は進んでおり、引続き日常点検等による保全に努め、施設の維持管理を適正に行います。

【自校式給食室の概要】

学校名	構造	延べ面積 (m ²)	建築年度		築年数
			西暦	和暦	
東部小	S	135	1969	S 44	55
南部小	S	150	1972	S 47	52
北部小	S	97	1966	S 41	58
川間小	S	155	1970	S 45	54
福田第一小	S	203	1976	S 51	48
福田第二小	R C	122	1998	H 10	26
山崎小	R C	180	1980	S 55	44
岩木小	R C	180	1980	S 55	44
尾崎小	R C	275	1984	S 59	40
七光台小	R C	264	1984	S 59	40

二ツ塚小	R C	276	1986	S 61	38
みずき小	R C	317	2003	H15	21
東部中	R C	268	1982	S 57	42
南部中	S	330	1994	H6	30
北部中	R C	293	1982	S 57	42
川間中	R C	273	1982	S 57	42
福田中	R C	260	1984	S 59	40
岩名中	R C	268	1987	S 62	37

長寿命化の判定フロー



ア 評価基準：屋根・屋上

目視状況を事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。

《解説》

良好

劣化

評価 仕様	良好  劣化			
	A	B	C	D
<p>〈点検項目〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓最上階の天井において、降雨時やその翌日の雨漏りがないか。または、雨漏りが原因と思われるシミやカビがないか。 ✓防水面において、膨れ・剥がれ・破れ・穴開きなどがいないか。 ✓金属屋根においては、錆・損傷・腐食などがいないか。 ✓上記のような劣化事象の箇所数を記入。 <p>〈点検の留意点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ルールドレイン（屋上排水口）や排水溝は、緩い勾配がつけられている屋上で、最も低い部分で、土砂などが溜まりやすくなっており、ここが詰まると屋上に水溜りができてしまい、劣化が進み、漏水が発生する恐れがある。 ✓目視だけでなく歩行により、浮きや水ぶくれ等がないか確認する。 ✓パラペット立上り部分の防水端部で、剥がれ等がないか確認する。 ✓屋内運動場の屋根は、容易に登れない場合は隣接する校舎の屋上等から観察する。 ✓1箇所劣化事象だけでなく、全体の経年状況等を踏まえる。 ✓現状のまま放置すると、他の場所でも同じように劣化が進行する可能性がある場合は評価を1段階引き下げる。 ✓現状として、降雨時に複数箇所雨漏りしている場合をD評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。ただし、屋上防水は改修済でも、天井ポートは既存のままとなっている学校が多く、見極める必要がある。 	<p>良好</p> <p>汚れている程度 改修後10年以内</p>	<p>部分的に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷がある。</p>	<p>広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、土砂の堆積、雑草、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。</p>	<p>広範囲に、損壊、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。</p>
	<p>良好</p> <p>汚れている程度 改修後10年以内</p>	<p>部分的に、ふくれ、変質（摩耗）、排水不良がある。</p>	<p>広範囲に、ひび割れ、変質（摩耗）、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。</p>	<p>広範囲に、破断、損壊、下地露出、幅広のひび割れがあり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。</p>
	<p>良好</p> <p>汚れている程度 改修後10年以内</p>	<p>部分的に、ふくれ、しわ、変質（摩耗）、排水不良がある。</p>	<p>広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質（摩耗）、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。</p>	<p>広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。</p>
	<p>良好</p> <p>汚れている程度 改修後10年以内</p>	<p>部分的に、ふくれ、しわ、変質（スポンジ状）、排水不良がある。</p>	<p>広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質（摩耗）、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。</p>	<p>広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。</p>
	<p>良好</p> <p>汚れている程度 改修後10年以内</p>	<p>部分的に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、金属のさびがある。</p>	<p>広範囲に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、取付金物のさび、部分的な腐食・損壊があり、最上階天井に漏水痕がある。</p>	<p>広範囲に、さび、はがれ、腐食、取付金物の損壊があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。</p>

イ 評価基準：外壁

目視状況を事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。

《解説》

良好

劣化

評価 仕様	良好  劣化			
	A	B	C	D
<p>〈点検項目〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓外壁において、コンクリートが剥落し、鉄筋が露出している箇所はないか。 ✓外壁の室内側において、雨漏りと思われるシミ垂れや塗装の剥がれがないか。また、降雨時や翌日に床面に水溜りができてないか。 ✓外装材（モルタル・タイル・吹き付け材などの仕上げ材）の亀裂、浮き、剥離、ひび割れ及び破損などがないか。 ✓建具枠、蝶番などの腐食、変形、ぐらつきなどがないか。 ✓窓枠と外壁との隙間に施されているシーリング材に硬化、切れ、剥れなどがないか。 ✓上記のような劣化事象の箇所を記入 <p>〈点検の留意点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓目視によって外壁の状況を確認する。大きな損傷、変形、腐食などがなければ確認する。 ✓外壁のタイル、モルタルなどに剥落やふくれ、浮きを発見した場合は、直ちに、周辺に立ち入りできないよう措置を行う。また、部分的に打診による浮きの確認をすることが望ましい。 ✓スチールサッシは、錆の影響による開閉不良・鍵の破損等について確認する必要がある。 ✓現状として、降雨時に複数箇所で見られる雨漏りしている場合をD評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。 ✓鉄筋の露出は、概ね5箇所以上をD評価とする。 	<p>塗り 仕上げ</p> <p>良好</p> <p>汚れている程度 改修後10年以内</p>	<p>部分的に、ひび割れ・変質・浮き・さび汁がある。</p>	<p>広範囲に、ひび割れ・亀甲状のひび割れ・変質・浮き・剥がれ・さび汁があり、小規模な漏水がある。</p>	<p>広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。</p>
	<p>タイル 張り 石張り</p> <p>良好</p> <p>汚れている程度 改修後10年以内</p>	<p>部分的に、ひび割れ・変質・浮きはらみ・さび汁・シーリング材のひびがある。</p>	<p>広範囲に、ひび割れ・変質・浮きはらみ・さび汁・シーリング材のひびがあり、小規模な漏水がある。</p>	<p>広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。</p>
	<p>金属系 パネル</p> <p>良好</p> <p>汚れている程度 改修後10年以内</p>	<p>部分的に、さび・変質・シーリング材のひびがある。</p>	<p>広範囲に、さび・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。</p>	<p>広範囲に、さび・腐食・ぐらつき・取付金物の腐食があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。</p>
	<p>セメント 系パネル</p> <p>良好</p> <p>汚れている程度 改修後10年以内</p>	<p>部分的に、ひび割れ・変質・欠損・シーリング材のひびがある。</p>	<p>広範囲に、ひび割れ・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。</p>	<p>欠落・ぐらつき・取付金物の腐食・シーリング材の欠落があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。</p>
	<p>窓 (サッシ)</p> <p>良好</p> <p>汚れている程度 改修後10年以内</p>	<p>部分的に、変形・変質・シーリング材の硬化。</p>	<p>全体的に、変形・変質・さび・シーリング材の硬化・ひび割れが見られる。</p>	<p>全体的に腐食・損壊・開閉不良があり、漏水がある。</p>

ウ 評価基準：内部仕上げ、電気設備、機械設備

部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価する。

〈評価基準〉

目視による評価 【屋根・屋上、外壁】

 <p>良好</p>	評価	基準	評価点
	A	概ね良好	10
	B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）	40
	C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）	75
	D	早急に対応する必要がある。 （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている。） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等	100
劣化			

経過年数による評価 【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

 <p>良好</p>	評価	基準	評価点
	A	20年未満	10
	B	20～40年	40
	C	40年以上	75
	D	経過年数に関わらず著しく劣化事象がある場合	100
劣化			

エ 劣化度の算定

各建物の5つの部位（①屋根・屋上、②外壁、③内部仕上げ、④電気設備、⑤機械設備）について劣化状況を4段階で評価し、平均点を評価点とする。

また、構造躯体については建設後の経過年数（築年数）を評価点とする。

上述の構造躯体以外の評価点及び構造評価点の合計点を総合劣化度として評価する。

総合劣化度＝構造躯体以外の評価点＋構造躯体の評価点

オ 各学校施設の劣化状況

No.	中分類	施設名、建物名称	建物基本情報						構造躯体の耐震性						劣化状況評価						総合評価	
			建物用途	構造	階数	延べ面積 (㎡)	建築年度		築年数	基準	診断	診断 年度	補強	補強 年度	屋根 上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	劣 化 状 況 評 価		構 造 部 材 評 価
							西暦	和暦														
1	学校	中央小学校	新館	RC	3F	1,952	1964	S39	60	旧	済	S58	済	H25	A	A	C	C	C	49	60	109
2			管理棟	RC	2F	1,422	1965	S40	59	旧	済	S58	済	H26	A	A	C	C	C	49	59	108
3			3年館	RC	3F	2,455	1928	S3	96	旧	済	S57	不要	-	C	B	C	C	C	68	96	164
4			7年館	RC	3F	2,699	1932	S7	92	旧	済	S57	不要	-	B	B	C	C	C	61	92	153
5			記念館	S	3F	489	1973	S48	51	旧	済	H24	済	H27	A	A	A	A	A	10	51	61
6			体育館	S	2F	1,516	1966	S41	58	旧	済	H18	済	H23 H24	A	A	B	A	A	16	58	74
7		宮崎小学校	管理 特別 教室	RC	2F	1,308	1968	S43	56	旧	済	S58	不要	-	C	C	C	C	B	68	56	124
8			教室	RC	2F	997	1956	S31	68	旧	済	H20	済	H25	A	A	C	C	B	42	68	110
9			教室	RC	2F	1,710	2016	H28	8	新	-	-	-	-	A	A	A	A	A	10	8	18
10			体育館	S	2F	796	1965	S40	59	旧	済	H23	済	H25	A	A	A	A	A	10	59	69
11		東部小学校	管理 特別 教室	RC	2F	1,265	1969	S44	55	旧	済	S58	不要	-	A	C	C	C	B	55	55	110
12			普通 特別 教室	RC	3F	3,127	1981	S56	43	旧	済	S59	済	H25	A	A	C	C	B	42	43	85
13			体育館	S	2F	608	1968	S43	56	旧	済	H18	済	H20	B	B	B	A	C	41	56	97
14		南部小学校	普通 特別 教室	RC	3F	2,588	1971	S46	54	旧	済	H18	済	H19	A	C	C	C	A	49	54	103

No.	中分類	施設名、建物名称	建物基本情報					構造躯体の耐震性							劣化状況評価						総合評価	
			建物用途	構造	階数	延べ面積 (㎡)	建築年度		築年数	基準	診断	診断 年度	補強 年度	屋根 上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	劣化 状況 評価	構造 躯体 評価		
							西暦	和暦														
15	学校	南部小学校	管理 普通 教室	RC	3F	2,713	1978	S53	46	旧	済	S59	不 要	-	A	C	C	C	A	49	46	95
16			体育館	S	2F	765	1967	S42	57	旧	済	H22	済	H24	A	A	B	C	C	42	57	99
17		北部小学校	管理 教室	RC	3F	2,407	1974	S49	50	旧	済	S58	済	H25	A	A	C	C	C	49	50	99
18			体育館	S	2F	751	1975	S50	49	旧	済	H23	済	H25	A	A	A	A	A	10	49	59
19		川間小学校	普通 特別 教室	RC	2F	2,730	1966	S41	58	旧	済	S58	済	H25	A	A	C	C	B	42	58	100
20			管理 教室	RC	1F	1,067	1967	S42	57	旧	済	S58	済	H26	A	A	C	C	B	42	57	99
21			体育館	S	2F	750	1968	S43	56	旧	済	H24	済	H26	A	A	A	A	A	10	56	66
22		福田第一小学 校	管理 教室	RC	3F	3,692	1976	S51	48	旧	済	H15	済	H16	A	D	C	C	B	60	48	108
23			体育館	S	2F	1,111	1987	S62	37	新	-	-	-	-	C	B	B	B	B	47	37	84
24		福田第二小学 校	管理 特別 教室	RC	2F	769	1970	S45	54	旧	済	S58	不 要	-	A	C	C	C	C	62	54	116
25			普通 特別 教室	RC	3F	1,737	1998	H10	26	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	40	26	66
26			体育館	S	2F	493	1969	S44	55	旧	済	H21	済	H26	A	A	A	A	A	10	55	65
27	清水台小学 校	管理 教室	RC	3F	3,774	1975	S50	49	旧	済	S59	-	-	A	C	C	C	B	55	49	104	
28		特別 教室	RC	3F	1,702	1975	S50	49	旧	済	S59	済	H26	A	A	C	C	C	49	49	98	

No.	中分類	施設名、建物名称	建物基本情報						構造躯体の耐震性						劣化状況評価						総合評価	
			建物用途	構造	階数	延べ面積 (㎡)	建築年度		築年数	基準	診断 年度	補強 年度	屋根 上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	劣化 状況 評価	構造 躯体 評価			
							西暦	和暦														
29	学校	清水台小学校	体育館	S	2F	946	1976	S51	49	旧	済	H21	済	H27	A	A	A	A	C	23	49	72
30		柳沢小学校	管理 教室	RC	3F	3,673	1977	S52	47	旧	済	H17	済	H18	A	C	C	C	B	55	47	102
31			体育館	S	2F	948	1978	S53	46	旧	済	H24	済	H27	A	A	A	A	A	10	46	56
32		山崎小学校	普通 教室	RC	3F	2,406	1980	S55	44	旧	済	S59	済	H26	A	A	C	C	B	42	44	86
33			普通 特別 教室	RC	3F	2,372	1980	S55	44	旧	済	S59	済	H26	A	A	C	C	B	42	44	86
34			体育館	S	2F	1,006	1980	S55	44	旧	済	H21	不 要	-	C	B	C	C	C	68	44	112
35		岩木小学校	普通 教室	RC	4F	3,850	1980	S55	44	旧	済	S59	済	H24	A	A	C	C	B	42	44	86
36			管理 特別	RC	3F	2,052	1980	S55	44	旧	済	S59	済	H26	A	A	C	A	B	29	44	73
37			普通 教室	RC	3F	746	1982	S57	42	新	-	-	-	-	B	B	B	C	B	47	42	89
38			体育館	S	2F	1,006	1980	S55	44	旧	済	H24	済	H27	A	A	A	A	C	23	44	67
39		尾崎小学校	管理 特別 教室	RC	3F	1,804	1984	S59	40	新	-	-	-	-	C	C	B	B	B	54	40	94
40			普通 教室	RC	3F	2,639	1984	S59	40	新	-	-	-	-	C	C	B	B	B	54	40	94
41			体育館	S	2F	1,065	1984	S59	40	新	-	-	-	-	C	B	B	B	B	47	40	87
42			七光台小学校	管理 普通 教室	RC	3F	3,443	1984	S59	40	新	-	-	-	-	C	C	B	B	B	54	40

No.	中分類	施設名、建物名称	建物基本情報				構造躯体の耐震性							劣化状況評価						総合評価		
			建物用途	構造	階数	延べ面積 (㎡)	建築年度		築年数	基準	診断 年度	診断 補強 年度	補強 年度	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	劣化 状況 評価		構造 躯体 評価	
							西暦	和暦														
43	学校	七光台小学校	特別 教室	RC	3F	1,357	1984	S59	40	新	-	-	-	-	C	C	B	B	B	54	40	94
44			体育館	S	2F	1,101	1985	S60	39	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	40	39	79
45		二ツ塚小学校	管理 普通 教室	RC	3F	2,244	1986	S61	38	新	-	-	-	-	C	C	B	B	B	54	38	92
46			特別 教室	RC	3F	1,385	1986	S61	38	新	-	-	-	-	C	C	B	B	B	54	38	92
47			特別 教室	RC	3F	1,338	1986	S61	38	新	-	-	-	-	C	C	B	B	B	54	38	92
48			体育館	S	2F	1,097	1986	S61	39	新	-	-	-	-	C	B	B	B	B	47	39	86
49		みずき小学校	管理 普通 特別 教室	RC	2F	5,047	2003	H15	21	新	-	-	-	-	B	B	B	A	A	28	21	49
50			体育館	S	2F	1,458	2003	H15	21	新	-	-	-	-	B	B	B	A	A	28	21	49
51		木間ヶ瀬小学 校	普通 教室	RC	3F	2,299	1978	S53	46	旧	済	H26	不 要	-	C	D	C	C	B	73	46	119
52			管理 特別 教室	RC	4F	1,708	1981	S56	43	旧	済	H7	済	H27	A	A	B	C	B	35	43	78
53			体育館	S	2F	1,198	1993	H5	31	新	-	-	-	-	C	B	B	B	B	47	31	78
54		二川小学校	管理 特別 普通 教室	RC	3F	2,470	1977	S52	48	旧	済	H7	不 要	-	A	C	C	C	B	55	48	103
55			普通 教室	RC	3F	1,282	1981	S56	43	旧	済	H7	済	H27	A	A	C	C	B	42	43	85
56			特別 教室	W	1F	318	1957	S32	67	旧	済	H26	未	-	C	D	C	D	D	90	67	157

No.	中分類	施設名、建物名称	建物基本情報					構造躯体の耐震性						劣化状況評価						総合評価		
			建物用途	構造	階数	延べ面積 (㎡)	建築年度		築年数	基準	診断 年度	補強 年度	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	劣化 状況 評価	構造 躯体 評価			
							西暦	和暦														
57	学校	二川小学校	特別 教室	W	1F	292	1955	S30	69	旧	済	H26	未	-	C	D	C	D	D	90	69	159
58			体育館	S	2F	1,184	1987	S62	37	新	-	-	-	-	A	C	B	B	B	41	37	78
59		関宿小学校	管理 特別 普通 教室	RC	3F	3,462	1999	H11	25	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	40	25	65
60			体育館	S	2F	1,060	2001	H13	23	新	-	-	-	-	B	B	B	A	A	28	23	51
61		関宿中央小学 校	管理 特別 普通 教室	RC	3F	3,699	1984	S59	40	新	-	-	-	-	C	D	B	B	B	59	40	99
62			特別 教室	RC	1F	252	1992	H4	32	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	40	32	72
63			体育館	S	1F	795	1984	S59	40	新	-	-	-	-	A	B	B	B	B	34	40	74
64		第一中学校	管理 特別 教室	RC	2F	1,309	1963	S38	62	旧	済	H21	済	H22	B	C	C	C	C	68	62	130
65			教室	RC	3F	2,507	1962	S37	62	旧	済	H20	済	H21	C	C	C	C	C	75	62	137
66			普通 特別 教室	RC	3F	1,344	1972	S47	52	旧	済	H22	済	H23	B	C	C	C	C	68	52	120
67	体育館		S	2F	1,557	1980	S55	45	旧	済	H23	済	H26	B	A	A	A	A	16	45	61	
68	武道場		S	1F	508	1997	H9	27	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	40	27	67	
69	第二中学校	管理 普通 教室	RC	3F	3,452	1980	S55	44	旧	済	S59	済	H25	A	A	C	C	C	49	44	93	
70		特別 教室	RC	3F	1,803	1980	S55	44	旧	済	S59	不要	-	D	C	C	C	C	80	44	124	

No.	中分類	施設名、建物名称	建物基本情報				建築年度				構造躯体の耐震性					劣化状況評価						総合評価	
			建物用途	構造	階数	延べ面積 (㎡)	建築年度		築年数	基準	診断 年度	補強 年度	補強 年度	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	劣化 状況 評価	構造 躯体 評価			
							西暦	和暦															
71	学校	第二中学校	体育館	S	2F	1,426	1988	S63	37	新	-	-	-	-	C	B	B	B	B	B	47	37	84
72		東部中学校	管理 普通 教室	RC	4F	4,279	1982	S57	42	新	-	-	-	-	A	D	C	C	C	C	67	42	109
73			体育館	S	2F	751	1971	S46	53	旧	済	H23	済	H25	A	A	A	A	A	A	10	53	63
74		南部中学校	普通 教室	RC	3F	2,293	1978	S53	46	旧	済	S59	済	H25	A	A	C	C	C	C	49	46	95
75			管理 教室 西棟	RC	3F	2,605	1984	S59	40	新	-	-	-	-	C	C	B	B	B	B	54	40	94
76			管理 教室 東棟	RC	3F	2,162	1984	S59	40	新	-	-	-	-	C	C	B	B	B	B	54	40	94
77			体育館	S	2F	1,599	1995	H7	29	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	B	40	29	69
78		北部中学校	管理 普通 教室	RC	3F	3,866	1982	S57	42	新	-	-	-	-	C	C	C	C	C	B	68	42	110
79			特別 教室	RC	4F	2,199	1982	S57	42	新	-	-	-	-	C	C	C	C	C	B	68	42	110
80			体育館	S	2F	1,604	2002	H14	22	新	-	-	-	-	B	B	B	A	A	A	28	22	50
81		川間中学校	管理 普通 教室	RC	3F	3,527	1982	S57	42	新	-	-	-	-	C	C	C	C	C	C	75	42	117
82			特別 教室	RC	3F	2,084	1982	S57	42	新	-	-	-	-	C	C	C	C	C	C	75	42	117
83			体育館	S	2F	1,282	1985	S60	40	新	-	-	-	-	C	B	B	B	B	B	47	40	87
84		福田中学校	特別 普通 教室	RC	3F	1,990	1979	S54	45	旧	済	S59	済	H26	A	A	C	C	C	C	49	45	94

建物基本情報										構造躯体の耐震性					劣化状況評価						総合評価	
No.	中分類	施設名、建物名称	建物用途	構造	階数	延べ面積 (㎡)	建築年度		築年数	基準	診断 年度	診断 補強 年度	補強 年度	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	劣化 状況 評価	構造 躯体 評価		
							西暦	和暦														
85	学校	福田中学校	管理 普通 特別 教室	RC	3F	3,273	1984	S59	40	新	-	-	-	B	C	B	B	B	47	40	87	
86			特別 教室	RC	3F	729	1984	S59	40	新	-	-	-	-	B	C	B	B	B	47	40	87
87			体育館	S	2F	1,447	1988	S63	36	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	40	36	76
88		岩名中学校	管理 普通 教室	RC	3F	2,384	1987	S62	37	新	-	-	-	-	C	C	B	B	B	54	37	91
89			特別 教室 西棟	RC	4F	2,942	1987	S62	37	新	-	-	-	-	C	C	B	B	B	54	37	91
90			体育館	S	2F	1,232	1987	S62	37	新	-	-	-	-	A	B	B	B	B	34	37	71
91		木間ヶ瀬中学校	管理 普通 特別 教室	RC	3F	3,896	1983	S58	41	新	-	-	-	-	B	C	C	C	C	68	41	109
92			特別 教室	RC	1F	471	1983	S58	41	新	-	-	-	-	A	C	C	C	C	62	41	103
93			特別 普通 教室	RC	3F	1,112	1989	H元	35	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	40	35	75
94			体育館	S	2F	748	1972	S47	52	旧	済	H7	不要	-	A	B	B	C	A	35	52	87
95		二川中学校	管理 特別 普通 教室	RC	3F	4,001	1982	S57	42	新	-	-	-	-	C	C	C	C	C	75	42	117
96			体育館	S	2F	750	1971	S46	53	旧	済	H7	不要	-	C	C	C	C	C	75	53	128
97	関宿中学校	管理 特別 普通 教室	RC	3F	2,204	1984	S59	40	新	-	-	-	-	C	C	B	B	B	54	40	94	
98		体育館	S	2F	798	1986	S61	38	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	40	38	78	

建物基本情報										構造躯体の耐震性					劣化状況評価						総合評価	
No.	中分類	施設名、建物名称	建物用途	構造	階数	延べ面積 (㎡)	建築年度		築年数	基準	診断	診断年度	補強	補強年度	屋根	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	劣化状況評価		構造躯体評価
							西暦	和暦														
99	学校	関宿中学校	格技場	S	1F	291	1970	S45	54	旧	済	H24	済	H27	A	A	A	A	A	10	54	64
100	幼保 こども園	野田幼稚園	管理教室	RC	2F	926	1973	S48	51	旧	済	S59	不要	-	C	C	C	C	C	75	51	126
101			遊戯室	RC	2F	202	1973	S48	51	旧	済	S59	不要	-	C	C	C	C	C	75	51	126
102			教室	RC	2F	231	1990	H2	34	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	40	34	74
103		関宿南部幼稚園	管理教室	W	1F	455	1976	S51	48	旧	済	H26	未	-	C	C	C	C	C	75	48	123
104			教室	W	1F	216	1983	S58	41	新	-	-	-	-	C	C	C	C	C	75	41	116
105		関宿中部幼稚園	管理教室	RC	2F	728	1982	S57	42	新	-	-	-	-	A	C	C	C	C	62	42	104
106	その他教育施設	学校給食センター(調理棟)	調理棟	RC S	1F	775	1972	S47	52	旧	未	-	-	-	C	C	C	C	C	75	52	127
107			調理棟	S	1F	81.6	1987	S62	37	-	-	-	-	-	C	C	C	C	C	75	37	112
108			管理棟	S	2F	291.6	1991	H3	33	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	40	33	73
109		関宿学校給食センター(調理・管理棟)	給食室(棟)	S	1F	1,042	1986	S61	38	新	-	-	-	-	B	B	B	B	D	52	38	90

カ 今後の計画

令和7(2025)年度	
第二中学校体育館屋根改修工事	70百万円
中学校屋内運動場等空調設備設置工事	941百万円

4 学校施設の目指すべき姿

(1) 安全・安心な施設環境の確保

児童生徒が安心して有意義な学校生活を送ることができるよう、防犯や施設の安全性などに配慮した施設整備を進めるとともに、障がいの有無に関わらず安心して学校施設を利用できるためのバリアフリー化を目指す必要があります。

(2) 教育環境の質的向上

多様化する学習内容に対応するため、高機能かつ多機能な教育環境を整備するとともに、トイレの環境改善、電子黒板など新たな社会要望に対応する教育環境の質的向上を進める必要があります。

また、LED照明、人感センサー照明の導入などを促進し、省エネルギー化を図ることにより、環境負荷の軽減に配慮した施設として整備を進める必要があります。

(3) 学習活動への適応性

児童生徒の豊かな学びや健全な成長を支援するため、少人数指導などのきめ細やかな個に応じた指導を行うための空間及び調べ学習、習熟度別学習、ティームティーチングなど多様な学習形態を発展させるための空間やICT環境の整備を進める必要があります。あわせて、ALT（外国語指導助手）による外国語教育や国際理解教育の充実、児童生徒の自発的な学習や読書活動を促すため学校図書館の充実を図るとともに、特別な支援を要する児童生徒の教育ニーズに応じ、学びや能力を最大限に伸ばせるよう教育の機会の拡充や施設整備に取り組む必要があります。

(4) 地域とともにある学校施設づくり

児童生徒の豊かな学びや健全な成長を支えるためには、学校だけでなく地域が参画し、学校と地域との交流を通して、一体となって学校教育を推進していくことが重要です。

また、学校施設には、防災拠点としてだけでなく、地域住民や地域で活動する様々な団体の生涯学習や地域活動の場としての役割を核としたコミュニティづくりが推進されることなども見込まれます。そのため、学校施設が有効に活用され、地域から愛着を持って支えてもらえる施設となるよう、少子高齢化等の社会の変化や各地域の実情等を踏まえながら、再編も含め周辺施設との複合化や地域活動の拠点確保等についても検討を進めていく必要があります。

5 学校施設整備の基本的な方針等

(1) 学校施設整備の基本的な方針

「野田市公共施設等総合管理計画」において、公共施設の管理に関する基本的な考え方として、以下7項目の方針に対する取組について示されています。

野田市公共施設等総合管理計画の長寿命化に関する取組	<p>(野田市公共施設等総合管理計画P12)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 点検・診断等の実施方針 ② 維持管理・修繕・更新等の実施方針 ③ 安全確保の実施方針 ④ 耐震化の実施方針 ⑤ 長寿命化の実施方針 ⑥ 統合や廃止の推進方針 ⑦ 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針
---------------------------	--

「野田市公共施設等総合管理計画の取組方針」や「4 学校施設の目指すべき姿」での課題を踏まえ、学校施設の長寿命化に向けた基本方針を次のとおりとします。

野田市学校施設長寿命化計画の基本方針	<ol style="list-style-type: none"> ① 日常点検・定期点検に取り組み、維持管理を適正に行います。 学校施設の老朽化は一層進展することが想定されることから、破損・故障の前に改修する予防保全への転換を図るため、点検を重要視します。 ② 改修部位の優先順位を決定します。 改修計画は劣化状況調査に基づいて行います。 ③ 施設環境の向上を目指します。 施設環境については、社会的ニーズ及び技術の発展による対応により、学校施設の機能を改善します。 ④ 長寿命化に取り組みます。 予防保全と機能改善を効率よく組み合わせた施設の長寿命化を進めます。
--------------------	--

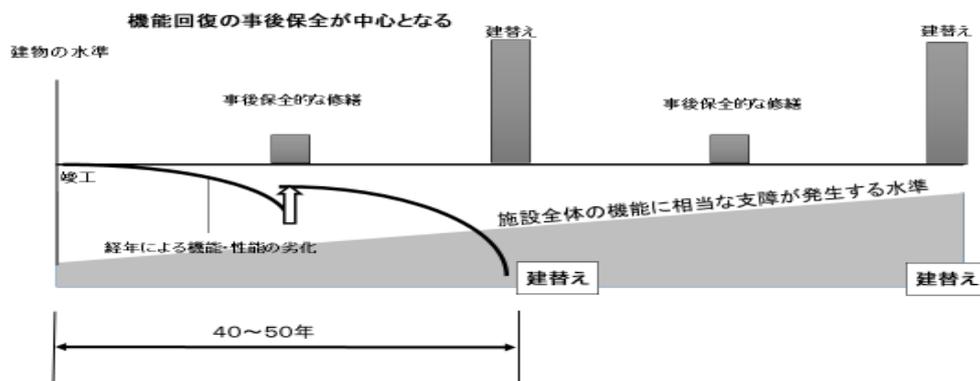
(2) 長寿命化の方針

公共施設は、適切に維持することにより長寿命化を図ることができるとされており、総合管理計画では日本建築学会が示す「建築物の耐久計画に関する考え方」による目標耐用年数範囲 50～80 年を考慮し、建替え周期を 80 年として将来コストを推計し、長寿命化による更新費用の削減効果を提示しています。

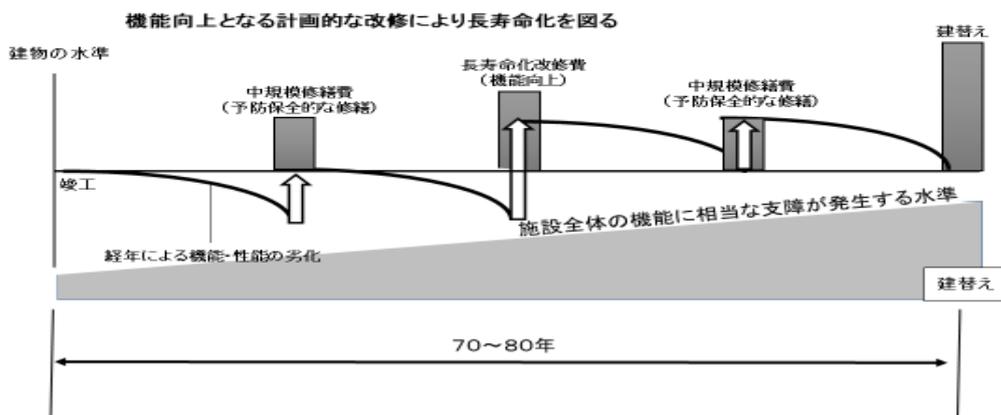
長寿命化は、建替えと比較し構造体の工事が不要となるため、工事費の縮減や工期の短縮が可能となる他、廃棄物の排出量の減少による環境負荷の低減にもつながることから、本市においては目標耐用年数を 80 年と定め、長寿命化に向けた施設整備に努めます。

【建替え中心から長寿命化への転換イメージ】

○建替え中心のイメージ



○長寿命化のイメージ



(3) 改修等の優先順位

各施設の長寿命化計画は、総合劣化度を基本に、施設の重要性や利用状況等を勘案し、野田市総合計画実施計画に位置付けます。

6 長寿命化計画の継続的運用方針

施設の長寿命化にあたっては、予防保全的な維持管理が重要となることから、施設の基本情報や光熱水費をはじめとする運営費、修繕等の工事履歴や劣化状況等の正確な状況を把握し、整備計画に反映させることとします。

(1) 推進体制等の整備

学校施設長寿命化計画を継続的に運用するために、庁内の関係課と連携を図り、全庁的な体制で取り組みます。

また、避難所としての機能強化、ユニバーサルデザインの導入、省エネルギー化等の観点を重視し、施設整備に反映させることとします。

(2) フォローアップ

本計画は、総合管理計画に基づき基本的な整備方針を位置付けるものであり、野田市総合計画実施計画において、実施年度を決定していくが、厳しい財政状況に鑑み当該年度の予算査定において与えられた財源の中で確定するものとします。

なお、今後より具体的な計画を整備し本計画に反映させていくものとします。

また、今後の社会経済情勢やニーズの変化等により、必要に応じて本計画を見直すものとします。

野田市学校施設長寿命化計画

令和3年3月

(令和6年3月一部改訂)

(令和7年3月一部改訂)

野田市教育委員会